

## 雪氷写真館 5

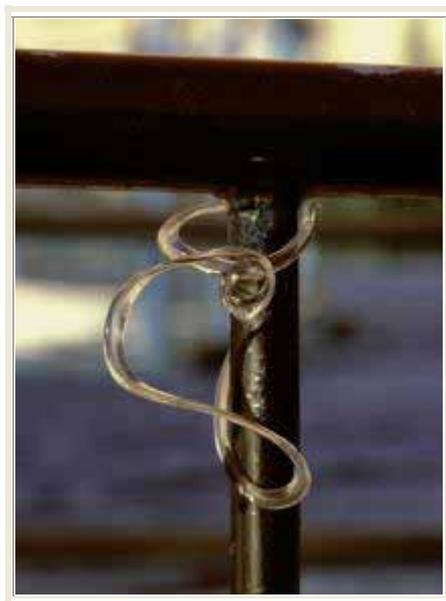


写真 1. 動物舎の柵にできた "ガラス細工のような氷"



写真 2. 同じ時にできた "ひも状の氷" / 写真 3. 写真 1 の氷を裏から撮影 / 写真 4. 動物舎の柵全景

## ガラス細工のような氷

写真は私が勤める動物園での光景です。その日は風の吹く、とても寒い早朝でした。動物舎の柵にきらきら光る 妙なひもが、結び付けられていました。ひもはいくつも 結んであり、触ってみると氷であることがわかりました。まるでガラス細工のようです。なぜこのような氷ができる のか？冬は不思議ないたずらをするものです。職員が集まって腕組みをしながら考えていると、やがて遅い朝日が 昇ってきました。するとそれは陽の光に一層輝き、かすかな 音とともに崩れ

落ちてしまいました。以来、同じ現象は一度も見られませんが、信じられない自然の妙に出会えた冬の早朝でした。

**高原 譲 さん(富山市ファミリーパーク)撮影(1995年12月)**

---

### どのようにして…？

この氷の現象名と成因についての問い合わせを受けた時は、重力に逆らうような形を不思議に思いながらも、苦しまぎれに、柵の鉄管に穴があってそこから水がしみ出してつららのようにできたのかと考えたが、現場を見たら水が出てくるような穴などはなかった。話を聞くと、前日に薄い雪が鉄パイプの上にあったということなので、雪がたれ落ちる過程で裾の部分に帯状(紐状)に集中した融雪水が冷えこみの中で凍り、さらに昇華の過程で雪が先になくなり氷の部分がこのような形として残ったのだろうか、などと考えている。いずれにしても、形から機構を考えることの難しさを示す逸品ではないだろうか。成因についてのご意見を広く求める次第です。

**石坂 雅昭 会員 (富山市科学文化センター)**